

別紙5-1は、A4用紙1枚に収まるように記入のこと。  
各記入欄の大きさは適宜変更して構いません。

記入要領・記入例

事業の概要

1	事業名	<p>(※) <u>第三者に分かりやすい事業名を簡略に記入すること。</u>          ○○○貝の機能性成分を活用したサプリメント製品の開発</p>
2	事業計画の内容	<p>(※) <u>今回行おうとする研究開発の内容(どのような開発等を行うのか)を300~400字程度で、第三者に分かりやすく記入すること。</u></p>
3	事業の目的・目標	<p>(※) <u>応募事業の背景・必要性・成果の目標・完成製品等の販売目標等を第三者に分かりやすく記入すること。</u></p>
4	独創性・市場性	<p>(※) <u>応募事業の独創性・市場性を第三者に分かりやすく記入すること。</u>          (1) 独創性           (2) 市場性</p>
5	保有する知的財産権の内容	<p>(※) <u>事業計画に関する知的財産権(特許、実用新案、意匠登録、商標登録等)の取得状況について、発明の名称や特許(出願)番号等を記入すること。</u></p>
6	研究開発体制	<p>(※) <u>研究開発体制(役割・担当、主任研究者の所属職氏名、研究開発従事者数等)及び研究開発の実施場所について記入すること。</u></p>
7	補助金の交付を受けた実績又は申請中の補助金	<p>(※) <u>応募事業に関連して従来補助金の交付を受けた実績や、現在申請中の他の補助金があれば、その名称、交付者、交付金額及び交付年度を記入すること。</u></p>

## 事業の詳細

### 1 事業計画の内容

(※) 別紙5-1で記入した内容を概略図、解説、資料等を交え詳細に記入すること。  
本事業期間終了時点での目標を明らかとすること。

〈記載のポイント〉

- ・今回行おうとする研究開発の内容（どのような研究、開発等をどのように行うのか）を、開発項目ごとに記入すること。
- ・どのような機械装置や材料を使用して開発するのか記入すること。
- ・研究開発等を委託する場合は、その内容、必要性及び委託予定先を記入すること。
- ・本事業期間終了時点での研究開発、製品等の到達目標を具体的に記入すること。
- ・以下の4点については要点を箇条書きで記載すること。
  - 具体的な顧客と対象市場（市場規模）
  - 顧客が購入する理由（ニーズ）
  - 「製品・サービス」のニーズを満足する理由と特徴または、市場開発（ニーズ）の新規性
  - 類似「製品・サービス」との差別化ポイント（市場競争優位性）

### 2 これまでの研究内容・課題、本助成金を必要とする理由

(※) これまで取り組んできた内容及び進捗状況を概略図、解説、資料等を交え詳細に記入すること。

〈記載のポイント〉

- ・これまでに行ってきた研究開発等の内容はどのようなものか記入すること。
- ・これまでに行ってきた研究開発等の技術的、経済的な問題点、課題はどこにあるのかを具体的に記入すること。
- ・本研究開発により従来のものの問題点等をどのように改善できるか、数値などを用いて記入すること。
- ・本助成金を必要とする理由を記入すること。

## 3 年次計画

(※) 本テーマの研究開発の年次ごとのスケジュールを詳細に記入すること。

1年目（事業開始日から1年間）

〈記載のポイント〉

- ・ 本事業の研究開発の1年目のスケジュールを具体的に記入すること。

2年目

- ・ 本事業の研究開発の2年目のスケジュールを具体的に記入すること。

## 4 技術に係る原理及び基礎となるデータ

(※) 本テーマの基となる技術の原理及び基礎となるデータがある場合は記入すること。（第三者の評価がある場合にはその内容を必ず記入すること。）

〈記載のポイント〉

- ・ 本テーマの基となる技術の原理がある場合は図等を用いて記入すること。
- ・ 本テーマの基礎となるデータがある場合は、図や数値等を用いて記入すること。
- ・ 本テーマや技術に対する第三者の評価がある場合にはその内容を具体的に記入すること。

## 5 従来技術との違い

(※) 従来技術とどのように違うのか明確にするため概略図等を交え詳細に記入すること。

〈記載のポイント〉

- ・ 本研究開発により従来のも（技術・製品）とどのようにちがうのか、図や数値などを用いて記入すること。

## 実 用 化 ま で の 見 通 し

### 1 実用化の見通し（実用化するための資金・人員・設備体制等）

年月	取組みの段階	資金(千円)	人員(人)	設備
○年12月～	製品化に向けた実用化研究	26,190	5人	試作機
○年1月～	製品開発・市場調査	10,452	10人	土地、工場、生産設備
○年2月～	生産工場の整備	105,000	100人	
○年9月～	生産			

(※) 製品等の実用化までの取組み（基礎研究、製品開発、販路開拓、生産等）を時系列で記入すること。  
 （各段階で必要な資金、人員、設備等も記入すること。）

### 2 製品等の概要

(※) 実用化する製品等の名称、機能、規格等（予定）を記入すること。

(※) 開発したものを自社内で活用する場合は、開発により得られるメリット（製品の高付加価値化、生産コスト低減等）について記入すること

### 3 市場性の分析

製品等	顧客層・顧客数	対象エリア	市場規模	備考
○○技術を用いた地域専用の安価○○ツールの	50代以上女性 約○○万人	四国内	約○億円	既製品の使用状況の○ ○社調査から推定、他地域では類似製品あり
○○○の機能性を有する○○食品	食品メーカー 約50社	全国	約○○億円	○○統計調査から推定、競合品なし

(※) 応募事業の成果（製品等）の市場状況について記入すること。

(※) 備考欄に数値の積算や将来性、競合製品の有無等を記入すること。

### 4 マーケティング方法等

製品等	価格	販売方法	PR方法	備考
○○技術を用いた地域専用の安価○○ツールの	2,000円/台 (小売価格)	通販（HP等）	通販専門雑誌、サイト等	モニタリング調査等を実施する
○○○の機能性を有する○○食品	300円/セット (卸価格)	全国代理店 自社直売	メディア、HP、パンフレット	○○社製品と連携し、事業の多角化を図る

(※) 応募事業の成果（製品等）のマーケティング方法、顧客確保の方策を記入すること。

### 5 事業化にあたりクリアすべきその他の課題

(※) この事業（製品等）を実用化するにあたって必要となる検査・承認等（法規制、JIS、業界ガイドライン等）を示し、その対処方針、スケジュール等について記入すること。

### 6 経済波及効果

(※) この事業（製品等）が実用化されることにより、愛媛県内にどのような経済波及効果が生じるのかまたは、社会的にどのような影響を与えるのかを記入すること。

・○年後には、県内普及率○○%以上、売上げ額○○億円が見込まれるとともに、県内の部品製造会社の売上増なども見込まれ、県内への経済波及効果は大きい。

### 7 事業成果目標

項目	設定目標	備考
短期目標（事業実施後3年以内）	※3年以内に本事業による経常利益黒字化を達成する	
長期目標（事業実施後10年後）	※10年後に総売上30%増を達成する	

別紙5-3-1

## 助成事業終了後の事業化計画説明書

## 1 助成事業終了後から事業化までの課題等

(※) 本事業終了後において、さらに取り組みなければならない製品化のための課題がある場合は、その課題を記入すること。また、どのように課題を解決するか、手段、資金の目途等対応スケジュールについて記入すること。

## 2 助成事業終了後の事業化計画・スキーム図

(※) 助成事業終了後（上記の課題がある場合においては、その課題解決後）における事業化計画を、生産計画・販売計画・市場獲得見込みなどの具体的な事業化の内容に区分し記入するとともに、本助成事業終了後5年経過時の単年度売上見込額を記入すること。

(※) 対象となる販売先、最終ユーザーについて記入すること。

(※) 事業化計画における製造・販売ルート、仕入先・外注先・販売先・最終ユーザーの関連を踏まえてA4判1枚以内で図示・説明について記入すること。

※別紙5-3-1は、助成金申請額が5,000千円超の場合に作成すること

助成事業経費内訳(平成〇〇年度分)

(単位:千円)

経費区分	名称	積算内訳	助成事業に要する全経費(A) (消費税等含む)	助成対象経費(B) (消費税等除く)	助成金充当予定額(C) (B)×2/3以内
(1)原材料費	〇〇試薬 試験用具購入	500円/ml×1,000ml 10,000円/kg×100kg	540 1,080	500 1,000	
計			1,620	1,500	1,000
(2)構築物費					
計					
(3)機械装置、工具器具費	試作機製作	〇〇部品 1,000/個×500個 本体組立て	540 21,600	500 20,000	
計			22,140	20,500	13,560
(4)技術指導受入費	〇〇技術指導	5,000円/人/日×5人×60日	1,620	1,500	
計			1,620	1,500	1,000
(5)外注加工費	サプリメント 加工外注	150万円/回×3回	4,860	4,500	
計			4,860	4,500	3,000
(6)市場調査費	展示会出展	240,000円/1小間	259	240	
計			259	240	0
(7)委託費	〇〇開発研究 委託	〇〇開発研究一式(460万円)	4,968	4,600	
計			4,968	4,600	1,440
(8)その他の経費					
計			0	0	0
合計			35,467	32,840	20,000

- (※) 助成事業実施期間が年度をまたがる場合は、経費全体の内訳書を作成するとともに、年度ごとの内訳書も作成すること。
- (※) 「えひめ中小企業応援ファンド活力創出産業育成事業助成金交付要綱」第2条に掲げる助成対象経費区分毎に、助成事業期間内に必要とする全経費額、助成対象経費額、助成金充当予定額を記入すること。
- (※) 助成対象経費は、消費税及び地方消費税相当額を含まない。
- (※) 各経費区分の助成金充当予定額は、助成対象経費の合計額の2/3以内(千円未満切り捨て)を記入すること。
- (※) 助成金充当予定合計額(各年度の合計額)は、20,000千円以下、小規模枠3,000千円以下で記入すること。

金額が、資金計画と一致すること

資金計画

(単位:千円)

区分	助成事業に充てる金額	資金調達先
ファンド助成金	20,000	えひめ産業振興財団
自己資金	5,467	
借入金	10,000	〇〇銀行
その他		
合計額	35,467	

- (※) 助成対象に該当する期間の全事業経費に係る資金計画を記入のこと。

## 申請者の概要(個人用)

(※)グループで提出する場合は、全構成員について記入のこと。

フリガナ 氏名	○○○○ ○○○○ ○○ ○○	生年月日 (年齢)	昭和○○年○○月○○日 (満△△才)
自宅住所	(〒○○○-○○○) 愛媛県○○市△△町×××		
	TEL(○○○-○○○-○○○) FAX(○○○-○○○-○○○) E-mail(○○○@○○○-○○○)		
最終学歴	昭・平○○年 ○月	○○大学○○学部△△学科	卒業・卒業見込
職歴	昭 ○年 ○月	○○㈱で、○○開発部の研究担当者として勤務	
	平 ○年 ○月	独立し、自宅で○○商店の個人事業主となる。	
	昭・平 年 月		
	昭・平 年 月		
研究歴・専攻 <ul style="list-style-type: none"> <li>・○○大学○○学部で、○○学を専攻し、○○における調査研究に携わった。</li> <li>・○○㈱では、○○開発部の研究担当者として、○○製品の部品改良のための○○研究のチーフとして研究に携わった。</li> </ul>			
今までに蓄積した知識・技能  <u>大学等で勉強した専門知識のみならず、広く修得している知識・技能等を記載すること。</u>			
保有特許等の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無	保有特許等の件数	5件
主な特許・実用新案等の名称			

申請者の概要 (法人用)

(※)グループで提出する場合は、全構成員について記入のこと。

名 称	〇〇〇 株式会社		創 業	昭和〇〇年 〇月 〇日		
資本金	10,000,000円		従業員	〇〇 人		
株 主 の 状 況	株主氏名	住 所	持株数	比 率	備 考	
		株主が法人の場合には備考欄にその法人の資本金及び従業員数を記入すること。				
主 要 生 産 ・ 販 売 品 目 及 び 金 額	品 名		生 産 金 額 (千円)			
			最近決算期 自 〇年 〇月 〇日 至 〇年 〇月 〇日		前決算期 自 〇年 〇月 〇日 至 〇年 〇月 〇日	
	できる限り具体的な製品名を記載すること					
現 有 施 設	用 途	所 在 地		面 積		
	土 地	本社	〇〇市△△町×××		1,000㎡	
		△△工場	△△市〇〇町×××		2,000㎡	
		用 途	建 物 の 構 造		面 積	
	建 物	本社事務所	鉄筋コンクリート造 2階建て		延 500㎡	
		△△工場	鉄骨造 2階建て		延1,500㎡	
設 備	機 械 又 は 装 置	用 途		台 数	備 考	
	主 要 設 備	プレス成形機	プラスチック製品製造用		4	△△工場
		NC施盤	金型加工用		3	〃
		材料評価試験機	材料評価用		1	〃



### 研究者の概要

(※) 調査、研究に携わる主たる担当者全員について記入のこと。

本事業を遂行する上での知識、経験を持った開発の主となる人物の中核人材欄に○を記載すること。

フリガナ 氏名		生年月日 (年齢)	昭和 年 月 日 (満 才)	中核人材
自宅住所	(〒 - )  TEL( - - ) FAX( - - )			
最終学歴	昭・平 年 月	卒業・卒業見込		
職歴	昭・平 年 月			
	昭・平 年 月			
	昭・平 年 月			
	昭・平 年 月			
研究歴・専攻				
今までに蓄積した知識・技能				
保有特許等の有無	有 ・ 無	保有特許等の件数		
主な特許・実用新案等の名称				

## グ ル ー プ の 構 成

(※) グループで提出する場合のみ提出すること。

(グループの名称：〇〇(株)、〇〇商店共同開発グループ )

### 1 グループの内訳

①名 称 (企業名、商号等)	(グループの代表者) 〇〇(株)	〇〇商店	
②代表者職・氏名 (若しくは個人名)	代表取締役 愛媛 一郎	松山 太郎	
③本 社 所 在 地 (若しくは、住所)			
⑤資本金(千円) (個人の場合は不要)	5,000千円		
⑥従業員数(人)	50人		
⑦ 本 研 究 開 発 の 実 施 体 制	実 施 場 所	愛媛県〇〇市 (〇〇(株)内)	同左
	担 当 部 署 名	〇〇開発部	
	主たる研究者 職・氏 名		
	研究員の人数	5人	1人
	連 絡 先 (電話番号)		
	連 携 体 での 役割・分担	主たる製品開発	サプリメントの製造に関する開発

### 2 グループ構成(役割)のイメージ図

